

飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

第 275 回 ソトアサ族～ビジネスパーソンの朝食事情

2008.9.14

20～30代男性のビジネスパーソンは「夜よりも朝の方が大切」と考えていることが、「アサヒ飲料」の調査で明らかになった。今回はこの調査の内容をご紹介します。

(出典：<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/0809/11/news014.html>)

どこかの誰かさんみたいに、千鳥足で、夜な夜な飲み廻る「夜型のん兵衛」のビジネスパーソンは減り、朝の始業前の時間を大切にする「朝型タイプ」が増えているらしい。2～3年前と比較して朝の時間を大切にしているビジネスパーソンは66.6%、また早起きをする与健康によい気がすると答えた人も8割に達した。現代ビジネスパーソンに、朝の価値が高まっていることがうかがえた。

昔から「早起きは三文の得」という諺があるが、朝を大事にすると、一体いくらの特になるのか...? 現代における「三文」とは...? ビジネスパーソンに、1時間早く起きた場合の金額を表した結果がある。厳密な経済計算したわけではなく、アバウトな感覚的データである。その結果、平均は4,353円。既婚者の平均額は6,108円に対し、未婚者(親と非同居)は2,951円と、家族構成によって朝の価値に違いがあるようだ。(インターネットによる調査で、札幌・仙台・東京23区・名古屋・大阪・広島・福岡で働く、20～30代の男性ビジネスパーソン1200人が回答した。調査期間は7月31日から8月7日まで。)

それでは、平日、きちんと朝食を食べている人はどの程度いるのだろうか。

上記「アサヒ飲料」の調査によると、朝食を食べているという人は76.8%、そのうち朝食を外で食べる「ソトアサ族」は52.7%と、家で食べる人よりも多いようだ。この「ソトアサ族」の中で朝食を会社で食べる「席朝族」は60.6%と、通勤途中で朝食をとる人を上回った。つまり、現代のサラリーマン朝食事情は、約8割近くの人が朝食を食べるが、その半分以上の人が家ではなく外で食べている。そんな、いわば「ソトアサ族」の約6割の人は、会社についてから、自分の席で軽食を食べているということになる。

では「ソトアサ族」は朝食でどのようなものを食べているのだろうか。最も多かったのは「パン」で57.3%、以下「おにぎり・寿司」(47.8%)、「サンドイッチ」(46.4%)。飲み物は「コーヒー」(66.7%)、「お茶」(38.0%)、「野菜飲料」(20.5%)という結果である。ちなみに「ソトアサ族」の朝食にかかる金額は、400円未満と答えた人が61.6%、平均金額は338円、なるほど、これに向けた商戦が激しくなっているのも納得できる。

「ソトアサ族」は、今に始まったものではなく、以前からいた。私も随分昔だが、サラリーマンをやっており、まだ新幹線も埼京線もない時代に、東京・蒲田や秋葉原へ毎日通勤していた。そんな時代の「ソトアサ族」といえば、立ち食いソバか、少し早めに行って、のんびりと喫茶店でモーニングサービスを楽しむのが通例だった。そういえば、お値打ち感で勝負した豪華モーニングを出す喫茶店も、目の前で天麩羅を揚げた、あの、お世話になった立ち食いソバ屋さんも、今はなくなったようだ。時代と共に朝食事情が変わるのは当たり前、でも、自分の時代がなくなっていく、一抹の寂しさは否めないのかもしれない。